学校番号	１０１５

平成３１年度　国語科

教科	国語科	科目	国語総合	単位数	4	年次	1
使用教科書	『高等学校　改訂版　新訂国語総合』　（第一学習社）						
副教材等	『新総合　図説国語』改定新版　（東京出版）						

1 担当者からのメッセージ

・１年生では漢字の書き取り・読み・語彙など、社会人に必要となる基礎的な国語の力を身に付けることを心がけましょう。
・話し合いや文章記述、発表など、アクティブな活動を取り入れた授業を行います。
・様々な文章を「読む能力」を向上させるとともに、コミュニケーションのための「話す・聞く能力」や意思を伝えるための「書く能力」をしっかりと身に付けてください。
・古典の時間では、有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・予習として必ず本文を読んでおきましょう。授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

2 学習の到達目標

・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に思いや考えを表現することができる。
・目的や場に応じて的確に文章の内容や構成、登場人物の心情を理解することができる。
・人間関係において、互いを尊重し、相互理解を深め、正しく意思を伝え合うことができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。
・伝統的な言語文化に対する関心を持ち、国語を尊重する態度を育んでいる。

3 学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:話す・聞く能力	c:書く能力	d:読む能力	e:知識・理解
観点の趣旨	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。	目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。	相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	行動の観察 （発表等のパフォーマンスの評価） 発問評価	記述の確認及び分析 （ワークシート・原稿用紙） 指名音読 課題の提出 定期考査	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４－① 学習の活動（現代文編）

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
前期	自分について語る	【近代以降】 〈自己紹介をしあって、話し方聞き方を学ぶ〉 教材: ワークシート	○	◎			○	a:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えようとしている。 b:何のために、誰に向かって、どのような条件で話すのかを考えている。 e:話すこと・聞くことに必要な文の組立てについて理解している。	a、b、e: 行動の観察と確認
	評論の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「世界は常に更新されている」 「水の東西」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:正しく理解し、使いこなせる言葉の数を増やしている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト
	小説の内容を理解するⅠ	【近代以降】 教材: 「羅生門」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認及び定期考査
	文学を創作する	【近代以降】 〈羅生門」の後日譚を創作する〉 教材: ワークシート、 原稿用紙	○		◎		○	a:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描こうとしている。 c:物事の様子や場面などを、読み手が言葉を通してありありと想像できるよう描いている。 e:書くことに必要な、文の組立てについて理解している。	a、c、e: 記述の点検と確認及び分析

後期	評論の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「ネットが崩す公私の境」 「交換は愉しい」	○			◎	○	a:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察しようとしている。 d:文章の構成や展開を確かめ、文章の内容にふさわしい文体や語句、表現の技法が用いられているかどうかを考察している。 e:言語が個人や社会の中で果たしている役割について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	小説の内容を理解するⅡ	【近代以降】 教材: 「夢十夜」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	短詩形文学を味わう	【近代以降】 〈俳句と短歌の代表的な作品を鑑賞する〉 教材:教科書に掲載された俳句と短歌	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 d、e: 記述の確認と分析及び定期考査
	文学の創作・発表	【近代以降】 〈短歌の創作と発表〉 教材: ワークシート	○	◎	◎		○	a:物事の様子や場面などを、言葉を工夫して豊に表現して、描こうとしている。 b:自身の作品を効果的に他者に提示することができている。 c: 物事の様子や場面などを、言葉を工夫して豊に表現して、描いている。 e: 文章の形態や文体の違いによる特色を理解している。	a、b、c、e: 記述の点検と確認及び分析

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。

４－② 学習の活動（古典編）

前期	単元名	学習内容	主な評価の観点					単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d	e		
	古文入門	教材: 説話 『宇治拾遺物語』 「児のそら寝」 「絵仏師良秀」 文法等…歴史的仮名遣い、文語の動詞の基礎	○			◎	○	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 d:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	古文の物語を読む	教材: 『伊勢物語』 「東下り」 「筒井筒」 『平家物語』 「祇園精舎」 「木曾の最期」 文法等… 文語の用言の活用	○			◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 d:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
後期	漢文入門	教材: 故事成語 「漁父之利」 「狐借虎威」 句法等…訓点、再読文字	○			◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 d:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査
	様々な漢文を読む	教材: 史伝「鶏鳴狗盗」 思想『論語』 詩 「春暁」 「静夜思」 「送元二使安西」 「春望」	○			◎	○	a:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確に捉えようとしている。 d:考えの進め方や、情景や心情の推移など、文章の筋道を的確にとらえている。 e:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

	古文の和歌を味わい日記を読む	教材: 和歌集『万葉集』 『古今和歌集』 日記『土佐日記』 「門出」	○			◎	○	a:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付こうとしている。 d:人物、情景、心情などを、どのように書き手が描いているのかを捉え、言葉の美しさや深さに気付いている。 e:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 d:記述の確認及び定期考査 e:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。